

2. 新市民会館の基本的な方向性

| 大項目 | 小項目 | Aグループ | Bグループ | Cグループ | Dグループ |
|------------|-------------------------|--|--|---|--|
| 1. 理念・全体像 | コンセプト・イメージ | <ul style="list-style-type: none"> ●多くの堺市民が芸術・文化に関心をもてる音楽・舞踊などの催し物をするホール。 ●音楽やその他の芸術にあまり関心のない（若い）人たちが関心を持てるような魅力あるホールとなるよう工夫する。 ●一般の人も幅広く来るように演歌などにも対応するホール。 ●若者が集まってくるような活気あふれるホール。 ●すこし優雅な雰囲気のホール。 ●品格あるホール。 ●観客と演じる者が一体となるホール。 | <ul style="list-style-type: none"> ●見栄えよりも装置や使いやすさを重視する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●レベルの高い、文化の香り高い事業をするホール。 ●鑑賞型の世界や日本を代表するものも呼べる。 ●レベルが高く、企画力・集客力のある施設。 ●地域で行われている団体の集合場所、発表の場として使いやすい機能がある施設。 ●レニングラードバレエや海外オペラのような芸術性の高い舞台を誘致できるようなホール。（しかし動員力は要検討） ●各区には700席、400～500席のホールがあるので、堺区には中核となるメインホールをつくる。 | <ul style="list-style-type: none"> ●全国の歴史的な舞踊や祭などの事業。 ●堺は日本にこだわったほうがいい。和を重視し、よそにない特色を出す。 ●一般の人も興味がわくような使われ方、事業とする。 ●だれでもが参加できるような使われ方。心がいやされるような何か・・・。 ●堺市の文化の中心となるような施設で、若者も来るような施設。 ●海外の大手アーティストの公演にたえうような施設。 ●仁徳陵が世界遺産になったら世界的な催し物、公演ができるホールが必要。 |
| 2. 施設と事業内容 | メインホール | <ul style="list-style-type: none"> ●多目的ホール ●3,500～5,000席程規模の多目的ホール。 ●1,500席以上の多目的ホール。 ●オーケストラの公演が可能な多目的ホールで、1,000席以上。 ●音楽・演劇ができる2,000席程度の多目的ホール。 ●音響の良いクラシックに対応するホール。 ●歌舞伎が身近に見られるホール。 ●馬蹄形の客席と4層程度のバルコニー席のある、格調高いホール。 | <ul style="list-style-type: none"> ●オペラも含めてひととおりの演目ができる多目的ホールという方向になる。 ●多目的ホール。 ●座席数は現在の市民会館程度（1,400）でよい。 ●演目に中南米音楽、とくにオルケスタ・ティピカ方式のアルゼンチンタンゴを。 ●毎回大阪に行かなくても堺でオーケストラがきけるようにしたい。 ●いまの市民会館は演じにくい。 ●いまの市民会館は、席から舞台が見にくい。座席が硬い。 | <ul style="list-style-type: none"> ●1,800席で音楽中心の多目的ホール。中ホールは800席で演劇対応ホール。小ホールは300席でピアノの発表会や室内楽などに対応するホール。 ●1,500席。芸術の香り高いオーケストラやオペラ公演に対応するホール。 ●800～1,000席くらいの音響の良いホール。 ●オペラ、バレエ、クラシックコンサートもでき、和洋の舞台芸術も可能な、よそにはないような特殊な多目的ホール。 ●クラシック、バレエ、ポピュラー音楽、オペラに対応する音楽専用ホール。（ビックアイは音響が悪く使えない。） ●オペラ、バレエ、オーケストラなどの公演で、今の大阪では十分できない事業が可能なホール。 ●堺市にはオペラ、バレエ、オーケストラの団体が数多くある。オーケストラピットのあるホールにすれば、鑑賞型の世界や日本を代表する演目も誘致できる。 ●各区には700席、400～500席のホールがあるので、堺区には中核となるメインホールをつくる。 | <ul style="list-style-type: none"> ●多目的に使えるホール。 ●2,000～2,500席の多目的施設。オーケストラ、バレエ、（音楽）ミュージカルに利用。 ●音楽専用の機能を備えつつ、大型のバレエや演劇にも転用できるように。 ●クラシック専用とし、音響を重視する。 ●メインホールの事業はバレエを想定する。（オーケストラピット、舞台の奥行きが必要。） ●オペラ、クラシック他、演劇、歌舞伎もできる多目的型に。 ●多目的ホールならNHKホールのような3,000席のものが最高。（仁徳陵が世界遺産になれば国際会議の会場にも広げられる。） ●2,500～3,000席のホールとし、50～100年後の使用に耐えるような施設に。 ●大型公演ができるように。 |
| | 中小ホール その他 (施設・設備) | <ul style="list-style-type: none"> ●中ホール：1,000席規模。古典芸能にも重きをおき、畳敷きの楽屋も必要。 ●小ホール：クラシック音楽用。 ●（SAYAKA ホール地下にある）コンベンションホールのような多目的空間で、もう少し大きなものを。 ●付属設備：パイプオルガン ●利用者へのサービス、また施設の経営にプラスになるように、レストランとショップを設置する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●中ホールは音楽専用ホール。800～1000席。オペラ、日舞にも対応 ●鑑賞後、余韻を楽しめるロビー、ホワイトエに。 ●屋根に太陽光パネルを。 | <ul style="list-style-type: none"> ●300席程度の舞台もある。映像発表用ホール。設備は映画館と同じような質・内容のものを。 ●200人収容規模の平土間スペース。（コンベンション、会議、パーティ、ミニコンサートなどの多用途に対応） ●200㎡以上のリハーサル室や大中小のリハ（練習）室のある市民創造の場とする。 ●練習用の機能やスペース。 ●音響、照明、道具制作、舞台装置などの設備を充実して利用率を高める。 ●他のホールにはない高度な設備、音響のホールで、安く借りられるように。 | <ul style="list-style-type: none"> ●歌舞伎、能楽、コンサートなどの事業を。（歌舞伎、能楽は中小ホールでも可） ●現市民会館の大ホールの舞台は、奈落など設備の使い勝手が悪い。利用者のニーズにあった設備が必要。 ●搬入スペースの確保 ●車イスでも座席に行けるように。 |

| 大項目 | Aグループ | Bグループ | Cグループ | Dグループ |
|-------|---|---|--|--|
| 3. 運営 | <ul style="list-style-type: none"> ●ホール運営の一部を住民参加型とする。 ●アートマネジメントを市民主体で行う。 ●利用者へのサービス、また施設の経営にプラスになるように、レストランとショップを設置する。 ●エントランスの動線上の敷地を活用し、フリースペースを設け、スペース貸しをして収入源とする。 ●ネーミングライツを活用 | <ul style="list-style-type: none"> ●メインホールの事業は市民参加型に。 ●運営は市民参加型を。現在の予約の取り方は問題多い | <ul style="list-style-type: none"> ●指定管理ではなく直営に。(指定管理は料金が高くなる) ●音響、照明、道具制作、舞台装置などの設備を充実して利用率を高める。 ●他のホールにはない高度な設備、音響のホールで、安く借りられるように。 | <ul style="list-style-type: none"> ●堺市民の出演する場合の使用料は半額とする。 ●自主事業50%、買取事業50%。 ●鑑賞型と参加型をうまく組み合わせた行事。(例:市民合唱団で「第九」を5年間やったような。) ●使われ方は市民参加型に。 ●スポンサー付きホール(兵庫県立芸術文化センターのネーミングライツのような) ●リハーサルにホールを使えるように。 |